

令和2年度 外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 22

千葉県立八千代東高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名による個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：1名10分
(3) 作文	日本語の場合は500字～600字、英語の場合は250語～300語 受検者が、日本語又は英語を出願時に選択する。 検査時間：50分
(4) 外国人特別措置 適用申請書	実施要項（様式8）により、入国年月日及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定「1」または「未評価」の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年の欠席日数が20日以上、3カ年で30日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。 総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び特 記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機・意欲	志望動機が明確であり、高校生活への積極的な意欲が感じられる。
イ 表現力・受け答え	質問の内容を的確にとらえ、自分の考えを明瞭かつ適切な表現で伝えている。
ウ 態度	面接作法、態度が適切である。

(3) 作文

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	出題の意図を正確に理解して文章を展開している。意見・理由・説明が具体的で適切である。
イ 構成	文章の構成が分かりやすく論理的である。各段落に内容的なまとまりがある。

ウ 表現・表記	文章表現が適切である。文字・単語の表記が適正である。字数・語数が適正である。
---------	--

(4) 外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。